

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 3 月 20 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏 名	伊 藤 宏 一
研究課題	金融ウェルビーイングとウェルビーイング経済、金融教育と中立的アドバイザーの養成				
研究キーワード	金融ウェルビーイング・金融教育	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	12. つくる責任 つかう責任	該当なし	

1. 研究成果の概要

金融教育については、千葉学園において、全国初である高大連携金融教育を展開し、日本 FP 学会において付属高校の 2 名の先生と共に大学・高校での金融教育実践の成果と課題について報告、討論を行うことができた。またこの内容は FP 学会学会誌に本 2024 年 4 月掲載される予定である。

金融ウェルビーイングとウェルビーイングについては、講演で自説を展開したが、論文としては 2024 年度に完成・発表する予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

【著書・論文（査読なし）】

特になし

【学会発表等】

学会研究報告と学会討論・学会誌掲載

1) 日本 FP 学会 2023 年 10 月 7 日講演「高大連携による金融経済教育の展望と課題―学校法人千葉学園全国初の試み」

2) 同上講演掲載:日本 FP 学会学会誌『ファイナンシャル・プランニング研究』no.23 2024.3.31 刊行

3) 日本 FP 協会 2024 年 1 月 27 日パーソナルファイナンス教育シンポジウム 講演とパネル討論の司会
講演:「高等学校・大学でのパーソナル・ファイナンス教育の現状と課題」

パネル討論:金融経済教育の経験が金融リテラシーや金融行動に与える影響・高等学校・大学での授業事例と FP の関わり方―バネラー:上山 仁恵名古屋学院大学経済学部 教授、大熊信行 CFP®認定者

4) 「従業員エンゲージメントの向上と金融経済教育―従業員に必要な 3 つの金融能力 リテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティ」『ファイナンシャル・ウェルビーイング』創刊号・巻頭言 2024 年 3 月 31 日

【講演】

1)2023 年 10 月 4 日「日本におけるデジタル金融とサステナブルファイナンスにおける新たな局面」

WIWForum(台湾―台北)

2)2023 年 11 月 14 日基調講演「金融教育と保険リテラシーの深化―ウェルビーイングのためのリスクマネジメント再考」第 2 回公的支援活用シンポジウム 主催:公的支援協会

【その他大学サイト・新聞掲載】

2023 年 4 月 12 日

「エシカル経済―アフターコロナの世界を動かす新しい原理―第 5 回「サーキュラーエコノミーに挑む企業」(千葉商科大学サイト内 MIRAITimes (https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000003rus.html))

2023 年 5 月 19 日

「エシカル経済―アフターコロナの世界を動かす新しい原理―第 4 回「サーキュラーエコノミーの社会実装」(同上 https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000003gbb.html)

2023 年 6 月 29 日

「エシカル経済－アフターコロナの世界を動かす新しい原理－第 6 回「ウェルビーイング経済で未来を構築する」

2024 年 1 月 7 日

「金融能力高め資産形成を」（日経ヴェリタス第 826 号 巻頭特集インタビュー）

3. 主な経費

特になし

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし